

法所法之體

梅松録

六厘乙

鶴亭

秀賀作

撫蝶樓

周貞画



~ 13
3722
11



梅

櫻

海

所

録

上

門へ13
 號 3722
 卷 11

六編 松 梅 御所櫻
 上 巻



長六く

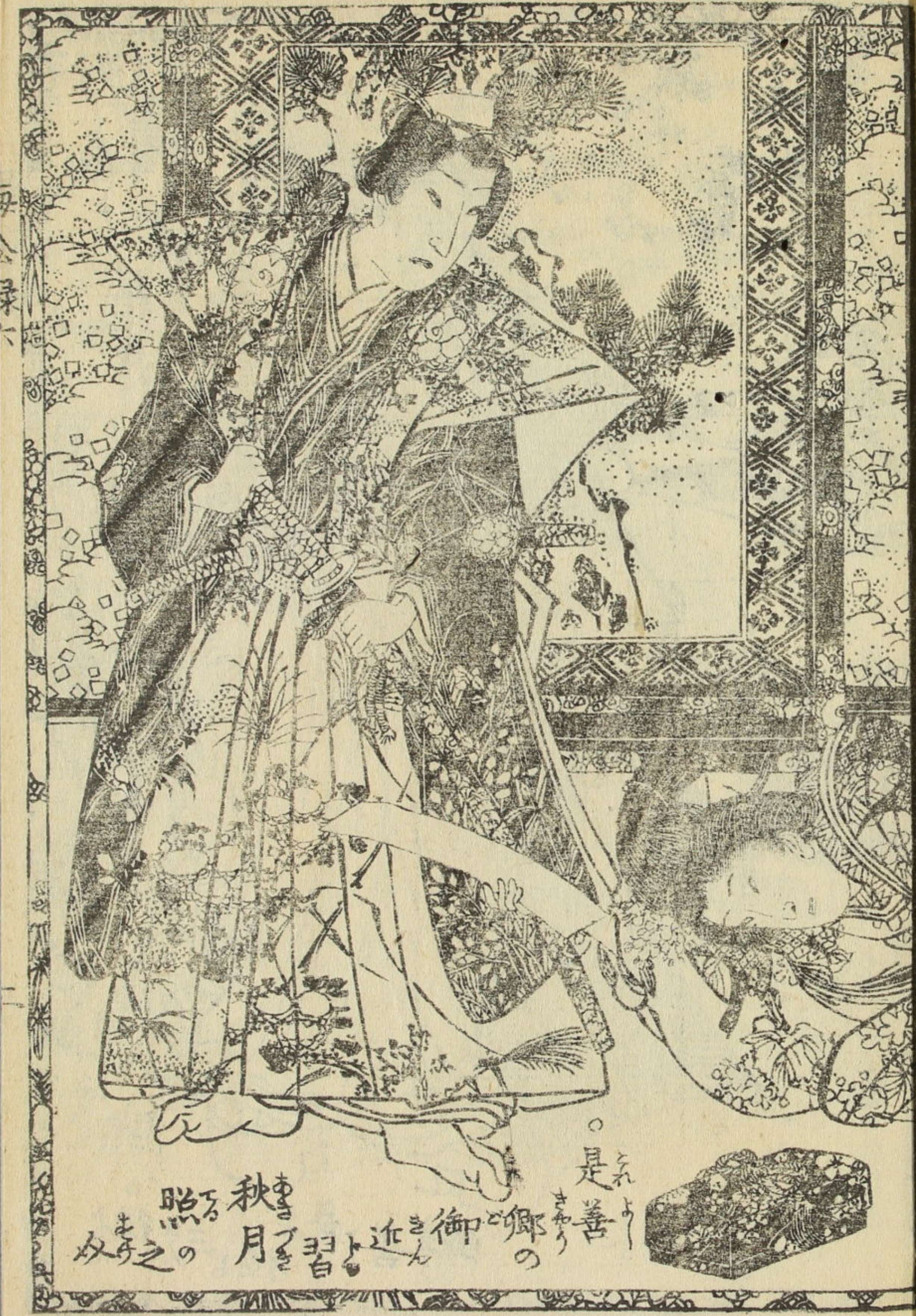
一

楚山ふ得たり 璞も視る人無き瓦石ふ等しく 勸善の意
 含み 稗史も視る人無き反古ふ等しく 併璞も磨けり光りの
 出ぬ 草紙も讀む惡を懲むの一助成べし 嚮ふ書肆乃需ふ
 應 箇様ても有ふと 當推量小視ぬ 玉敷の御所櫻梅松録
 培 稗史の鉢植と 做りたる小其梅あり 糸を 関巻視んと次
 篇を松の御 評判も先ハ芳野と 聞ゆる小僕も 鼻を高くし
 御始皇帝の 御狩の節大雨を凌ぎぬ 松ありねど 枝葉の茂り
 忽み大木の株ふもあまよと 欲張て急げば 廻り眼も廻れど 廻り兼
 たる筆を操り 菅公御宮泰りの條下迄を 誌しぬ

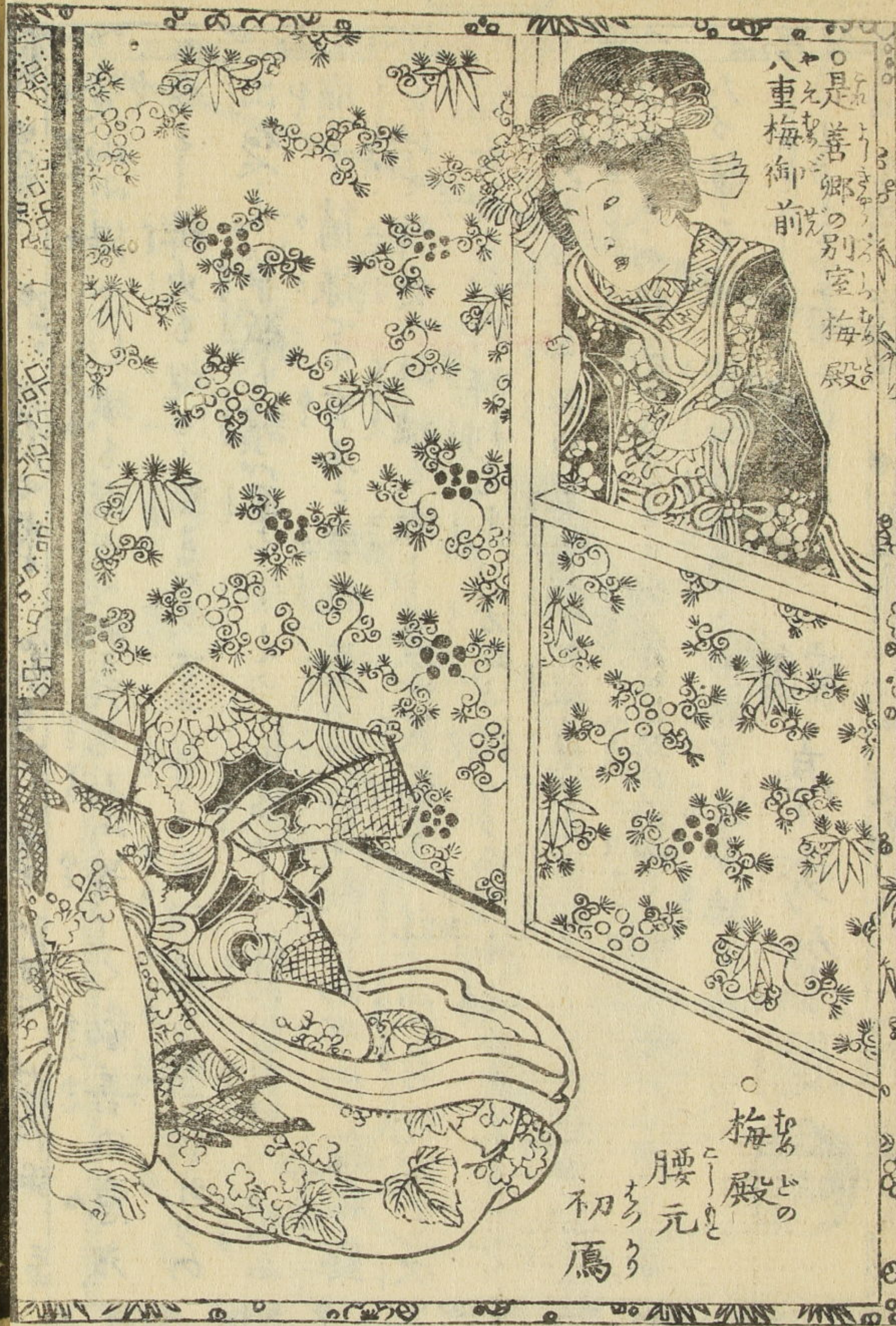
鶴亭秀賀題



文も久しとのへ 葉のや
 む月のと下 筑市ふむさぐ



是善郷の御近
 秋の月習
 照る之の
 是善郷の御近



梅殿の腰元
 初鴈

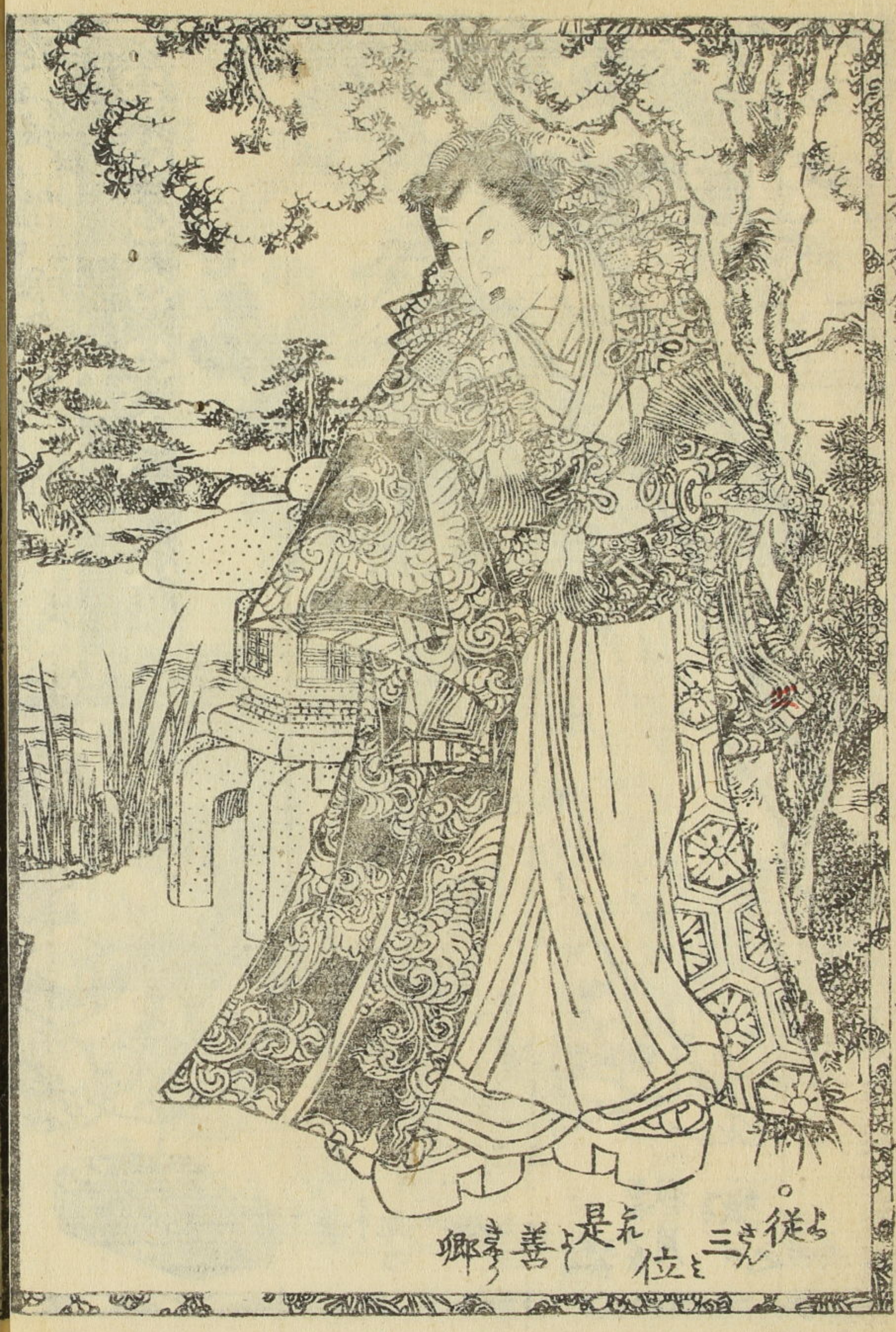
是善郷の別室梅殿
 八重梅御前

有本金一



松の前
侍の
若女
の
仲

是の善
御近習
光
之助

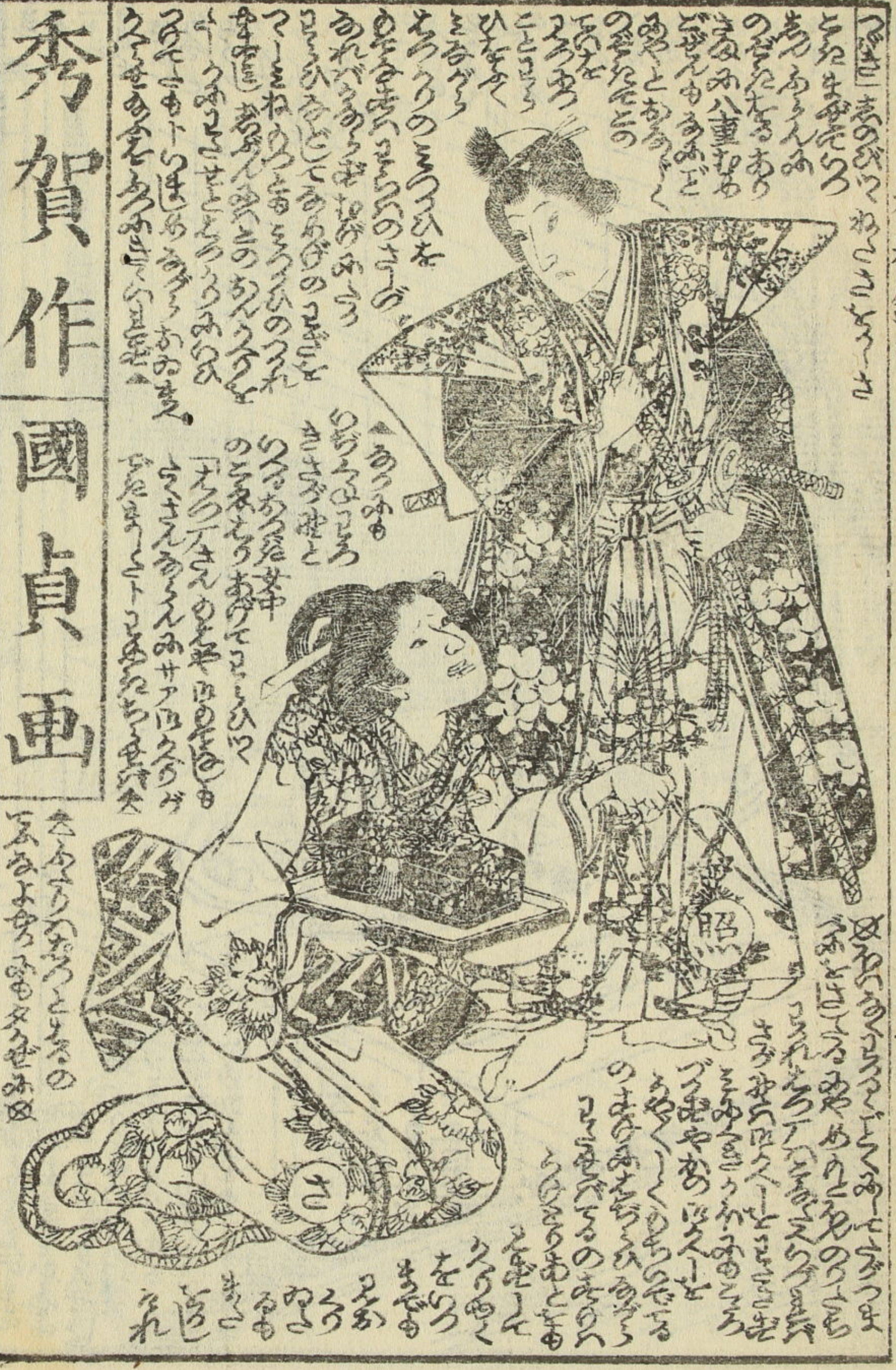


持松金二

是の善
位
三
従

島 芳年	善惡教訓圖解	上 藤	善惡雅教訓全
廣 重	大日本神社佛閣全	周 重	俳優忠臣藏全
廣 重	東海道五十之次全	房 種	花鳥かぶ美全
周 延	徳川年代記事全	周 延	書簪之圖全
房 種	古今名婦傳全	房 種	命養生善惡鏡全
廣 重	花鏡東京名所全	廣 重	開化東京名所全
録	龜地本錦繪問屋	島 鮮堂	網島龜吉

秀賀作國貞画



梅松堂

十

